

東京コーン週足のポイント



■ コメント ■

コーン先限23,660円 +290 一般大豆44,580円 +90
 コーン・大豆とも先限引き継ぎチャートで年初来高値更新となった。特にコーンは、引け値ベースで高値更新。
 立会中にユーロ買い・ドル売りが活発になり、同時に豪ドルといった資源通貨が対ドルで急反騰している。資源国通貨や資源国の株価堅調も追い風となり、原油や穀物市場へ資金流入が鮮明になってきたものと思われる。
 チャートは東京コーン週足。25週平均線は緩やかに上昇となり、転換線とともにきれいな上昇トレンドを形成中。
 50週平均が通過する25,700円付近は、一目均衡表・雲の下限と一致。このあたりが大勢の上値抵抗帯であるが、まずはここまでの上値トライは十分あり得る。
 天候次第ということはもちろんだが、雲の中に突入した場合は、フィボナッチ38.2%で28,000円、50%で32,000円どころが視野に入ってくる。
 まずは来月の米農務省需給報告を控える6月中旬までの強気方針か。
 (16:30 渡邊)

■ テクニカル ■

移動平均(25MA)	19838
移動平均(50MA)	25786
基準線	19260
転換線	21840

商品先物取引のリスク

商品先物取引は、期限・レバレッジのある取引です。取引証拠金の額に比べ約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、日々の値動きにより、短期間の間に大きな利益・大きな損失を被る可能性があります。
 詳細につきましては、PremiumClubメニュー左下に掲載されている「取引の重要事項」をご確認ください。